

演習 グループワーク②-2 住民啓発事業の企画案の検討

1

意図

専門職団体の現状や課題、関係構築にかかる経験を共有するとともに、専門職団体と円滑な関係構築ができるよう、どのような課題があり、どのようなアプローチが求められるのかを知る。

Step 1

地域住民の在宅医療に関する意識・理解
についてどのような課題があるか

< 個人ワーク:10分 >
< グループで協議:15分 >

2

進行:

1. 在宅医療を普及させるにあたって、住民意識の観点から、現状どのような課題があるか。まずは個人で書き出してみる。(個人ワーク10分)
2. 書き出したものを一人一人発表し、島をつくり、分類してみる。途中で気づいたものについては、追加していく。(グループ協議15分)

Step 2

地域住民に在宅医療をより知ってもらうためには
どのような方法が考えられるか

< グループで協議:25分 >

3

進行:

3. step1で出た課題を解決し、住民により在宅医療を知ってもらう(在宅での療養という選択肢があることを理解してもらう)ためにどのような方法が考えられるかを検討する
4. 以上は発表できるよう取りまとめまでもっていく。(グループ協議25分)

発表・共有

< 10分 >

4

進行:

5. 3グループ程度の発表を想定
(発表3分×3グループ・・・10分程度)